

第1回学校運営協議会 報告

令和8年5月11日(月)
世田谷区立八幡山小学校
学校運営協議会 会長 天幸 恵一郎
校長 林田 孝子
事務局 副校長 藤谷 弥生



今年度から学校運営協議会制度が始まりました。学校運営協議会は、学校運営に対して地域や保護者の意見を反映しながら、よりよい学校づくりを進めていくための組織です。委員の皆様から自己紹介や活動紹介をいただき、子どもたちのためにできることを一緒に考え、協力していくことを確認しました。

【参加者・今年度の運営協議会組織について】

会長 天幸 恵一郎 (前年度学校運営委員)
委員 青木 昭文 (前年度学校関係者評価委員)
委員 関口 沙織 (令和8年度 PTA 会長)
委員 井出 美奈子 (令和7年度 PTA 会長補佐)
委員 岡本 雄太 (おやじの会)
委員 齋藤 佐千子 (民生児童委員)
委員 林田 孝子 (学校長)

オブザーバー(学校支援コーディネーター): 小野寺 里美 安藤 綾子 堀田 彩子

主幹教諭: 桂 知琴 三村 幸弘

事務局: 副校長 藤谷 弥生

【議題】

○活動グループについて

「水泳指導」「放課後指導」を設置予定。「学年別キャリア教育」「草花栽培」「日本語検定」「チャレンジ☆スクール」についても活動グループでの取組が適切か今後検討していく。

○「地域のコミュニティづくりに貢献できる学校」のあり方について

学校は既に地域活動の拠点として機能しているのではないかと。八幡山小学校では、おやじの会、PTA、遊び場解放、地域行事、八幡社のお祭りなど多様な活動が行われている。新たな組織を作るより、現在の地域とのつながりを維持・発展させることが大切ではないかと。という意見が出された。

○地域等への情報提供のあり方について

学校だよりや正門前の掲示板、学校ホームページ等で情報発信を行う。現在副校長が見やすいホームページへと改善を図っている。

○今年度の教育活動、新年度の子どもたちの様子について

「かわり合い、学び合い」を大切に、子どもたちの非認知能力や豊かな心を育てる教育をすすめていく。(地域と連携した教育活動、キャリア教育の充実、道徳教育の推進、子ども主体のクラブ・委員会活動、あいさつ運動、安心して過ごせる居場所づくり)委員会活動や学校生活の中で、子どもたちが主体的に学校をよりよくしようと活動する姿が多く見られる。また、挨拶、靴揃えの取組も継続して行っている。一方、放課後の公園利用に課題が見られた。家庭や地域と連携しながら公共の場でのマナーについて継続して指導をしていく必要があると思われる。

○学校評価項目について

今年度から学校運営協議会が、学校評価にも関わっていく。評価項目の詳細は、次回検討を行う。

○学校運営委員会の学校分割予算について

一般需用費: 136000 円(主に文具等)、役務費 15400 円(郵便料)

○年間予定

年間6回を予定。次回は7月29日(火) 14時より

○その他

八幡山町会より、古紙回収にて教科書のリサイクルについての相談があった。「子どもが自分自身の教科書を持ち寄ることで、資源循環やSDGsへの理解につながるのではないか」「地域の資源回収活動の活性化にもつながるのではないか」「教科書を振り返り学習のために手元に残したい家庭もあるため、回収は各家庭の判断で」などの意見が出された。